

上田・大谷・鎌田・水口・矢嶋

# 横浜市 六大事業

1. 都市部の強化
2. 金沢富岡の埋め立て
3. 港北ニュータウン
4. 高速道路の建設
5. 地下鉄の建設
6. ベイブリッジの建設

特に「都心部の強化」について伺った。

# 都心部の強化のきっかけ

初めの市街地は「関内」

東海道線から外れるという理由で「横浜駅」が発展  
→市街地化

関内と横浜駅周辺の2つの市街地が存在した

# 造船所の移転

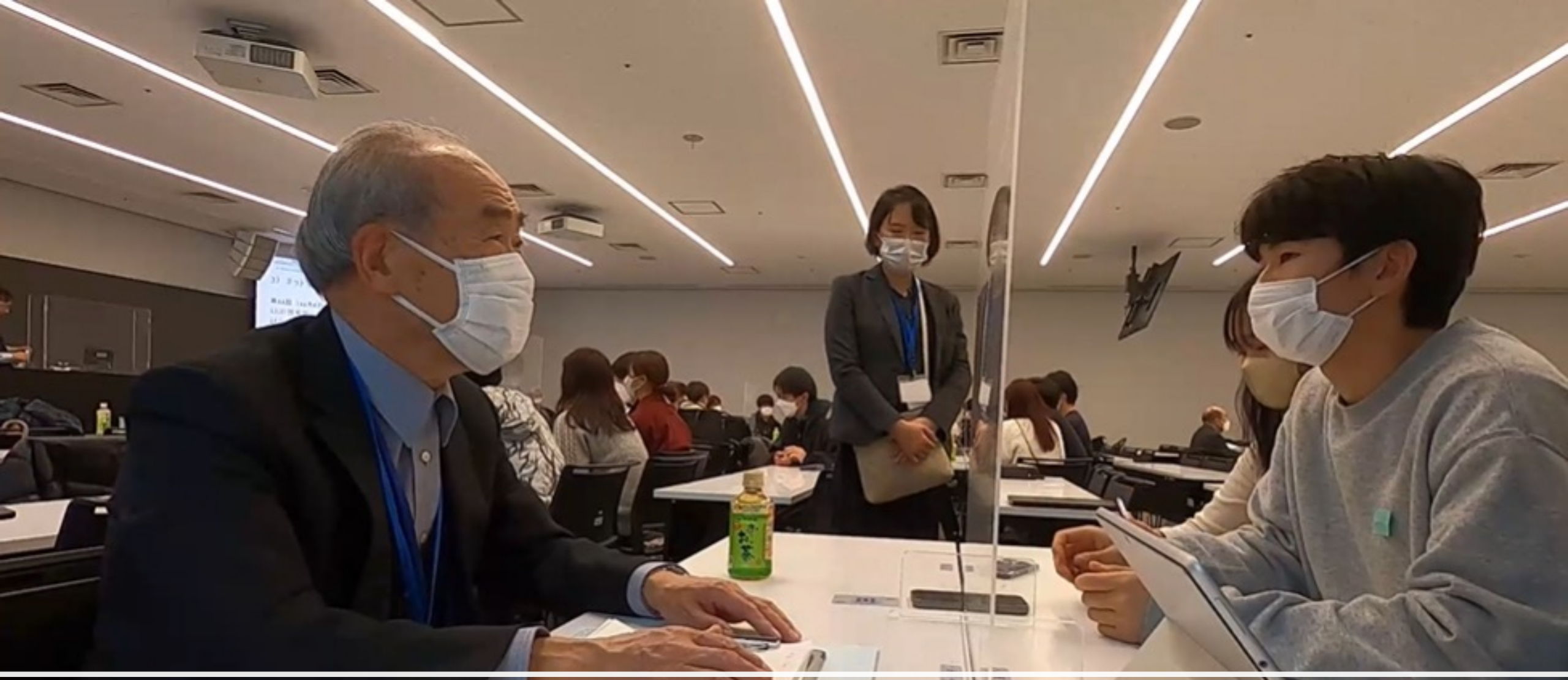
関内・横浜駅周辺の間に造船所  
→金沢富岡に移転

1つの大きな市街地にする  
＝都市部の強化の目的

00:30	自己紹介
00:44	お仕事について
07:20	ビートルズ
10:00	高度経済成長期
13:35	トロリーバス
16:10	横浜の成り立ち
17:39	画面切り替え
26:17	画面切り替え
26:18	6 第事業計画
26:27	東京のベッドタウン
27:40	横浜都心部の強化整備
27:56	金沢富岡の埋立事業
28:25	港北ニュータウン
28:47	高速道路整備
28:52	地下鉄
29:26	横浜ベイブリッジ
30:34	交通渋滞
31:53	都心部強化重要
32:20	関内が横浜の最初の都心

この場所はですね。ええ昭和 40 年 1995 1965 年当時ね。横浜のあの市長は飛鳥田一雄っていうね、社会党の主張だった。ゲーム。なんですが、ちょっと笑。ので。はないんだよね。んですね。そう。でその人はあの社会党の党首でもあったんですけど、もう昭和 40 年に横浜市の大六事業計画っていうのを市民に提案したんです。ね、それでその当時の横浜とい。でも。というのは、まあ、いわゆる東京のベッドタウンでね。東京が高硬度製剤形状でわんわん力が付いてきたでしょ？人はどんどん東京に集中する。そうですね。は何だろう、こちら。わけ。ですと。ええ、周りの年はベッドタウンになっちゃう。何か？歌って？夜は人がいるんだけど、昼間はついていなくなって、みんな東京行っちゃうね。それであの戦後、やはり横浜は？何が？あ、なるほど。うん。ああ、爆撃受けて、ほとんどはもっぱらなっちゃう焼け野原になりましたから。うーん。だから経済成長が遅れたんですね。で焼け野原になった上に米軍の駐留を受けちゃう横浜基地になっちゃったんですね。従って、横浜でも回復するためのその経済経済を回復させるための成長が横浜をくれたんですね。そういう。産まれてない？


うん。うん。いいえ。はい。出てこない。いうこともあるんですけど。うん。40 昭和 40 年に 16 大事業計画と言うのを出して一つ目が。横浜の都心部の強化整備強化整備これこれあのまた説明します。それからねええ。金沢と富岡の金沢富岡これ都市の名前ね金沢富岡ここのね。埋め立て事業でこれは？なんか話して。インターネット。ひらがな入力方法。ああしております出身です。6 月。ね。じゃあ。あのう。ええ？現場その人も。横浜市の中心地にある工業的なもの、ショートショート中がショート中ねがある場所に。工場があるわけだけど、これを移転先を求めよう。先輩だ。と思って。それが目的。富岡と金沢埋め立てそれから三つ目は新しい港北ニュータウン今で言うとな。港北区都筑区青葉。売ります。そうですね。あそこへニュータウンを。作ろうと。ごめんなさい。ね港北ニュータウンこれが三つ目。それからのええ高速道路網を整備しよう。はい。いいえ、先生。それからああ、地下鉄を闘争と。地下鉄というのは今湘南台から。はい。ずっとあるでしょ？あれは市電が亡くなった翌年にもう準備してたから、今の伊勢佐木長者町から上岡まで。最初に到達で徐々に公演してたね。うん。ええ、それでええ、それができたと 45 フィート。今ね、まあ、そのテレビよく言いましたっけね？そうですね。これからあすめがね、あの。ベイブリッジを横浜ベイブリッジ、横浜ベイブ



インタビューの様子



## まとめ



今回のインタビューで、  
1960年代から1970年代にかけて  
横浜が発展していったが、  
その過程について詳しくお話を聞く  
ことができて良かった。

また、都市部の強化をきっかけとし  
て、今の活性化した横浜・みなとみ  
らいができたということが分かった。